

令和7年度 三条市地域公共交通利用状況

《目 次》

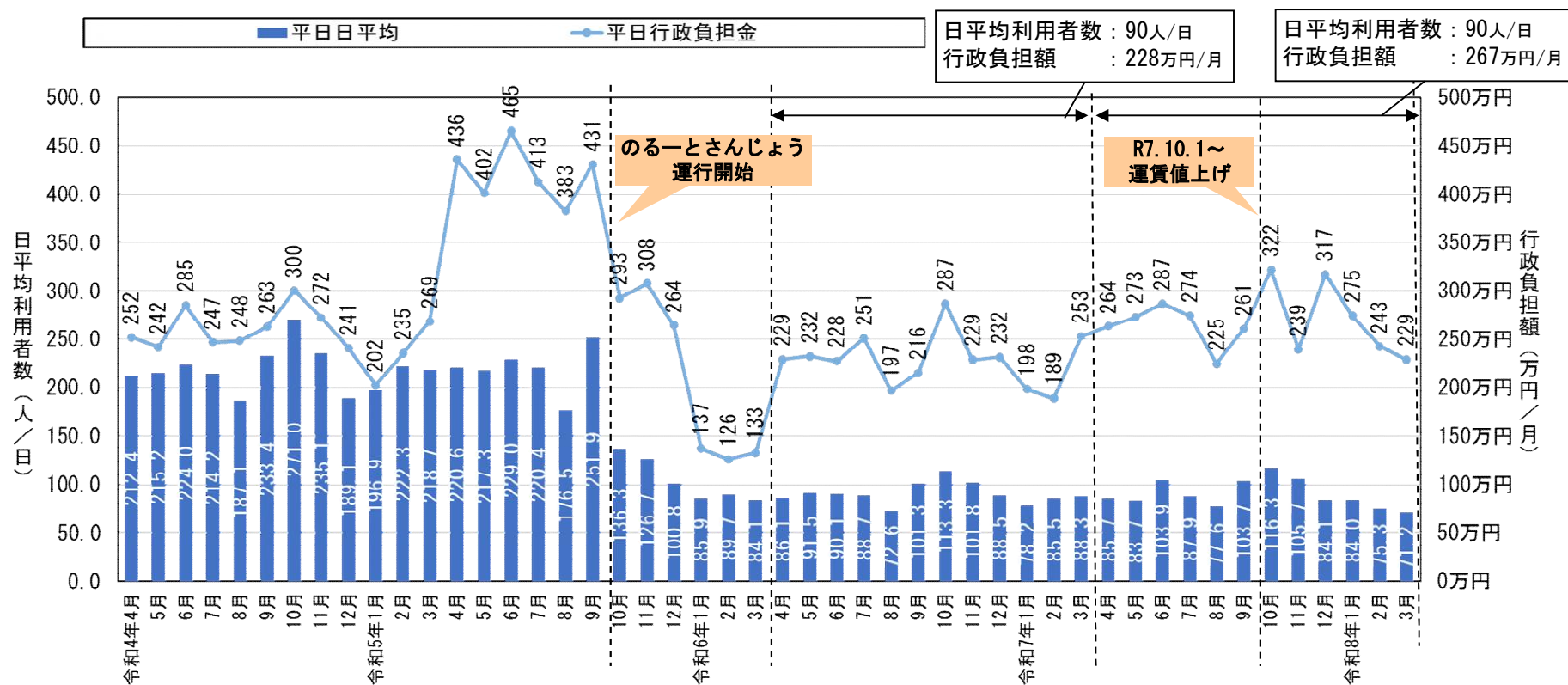
1	ひめさゆり利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 1
2	のるーとさんじょう利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 5
3	高校生通学ライナーバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 9
4	井栗地区コミュニティバス利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 10
5	循環バスぐるっとさん利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 11
6	アウトドアライナー利用実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 13
7	集計結果の考察と今後の改善策	・ ・ ・ ・ ・	P. 15

令和8年6月18日～29日(書面協議)
三条市地域公共交通協議会

1 ひめさゆり利用実績

(1)利用者数と行政負担額の推移(令和7年度・平日)

- 令和7年度の「ひめさゆり」の日平均利用者数は約90人/日で、令和6年度同時期（利用者数:90人/日）と同数
- 令和7年度の「ひめさゆり」の平日一運行当たり行政負担額は約267万円/月で、令和6年度同時期(行政負担額:228万円/月)と比較して増加した



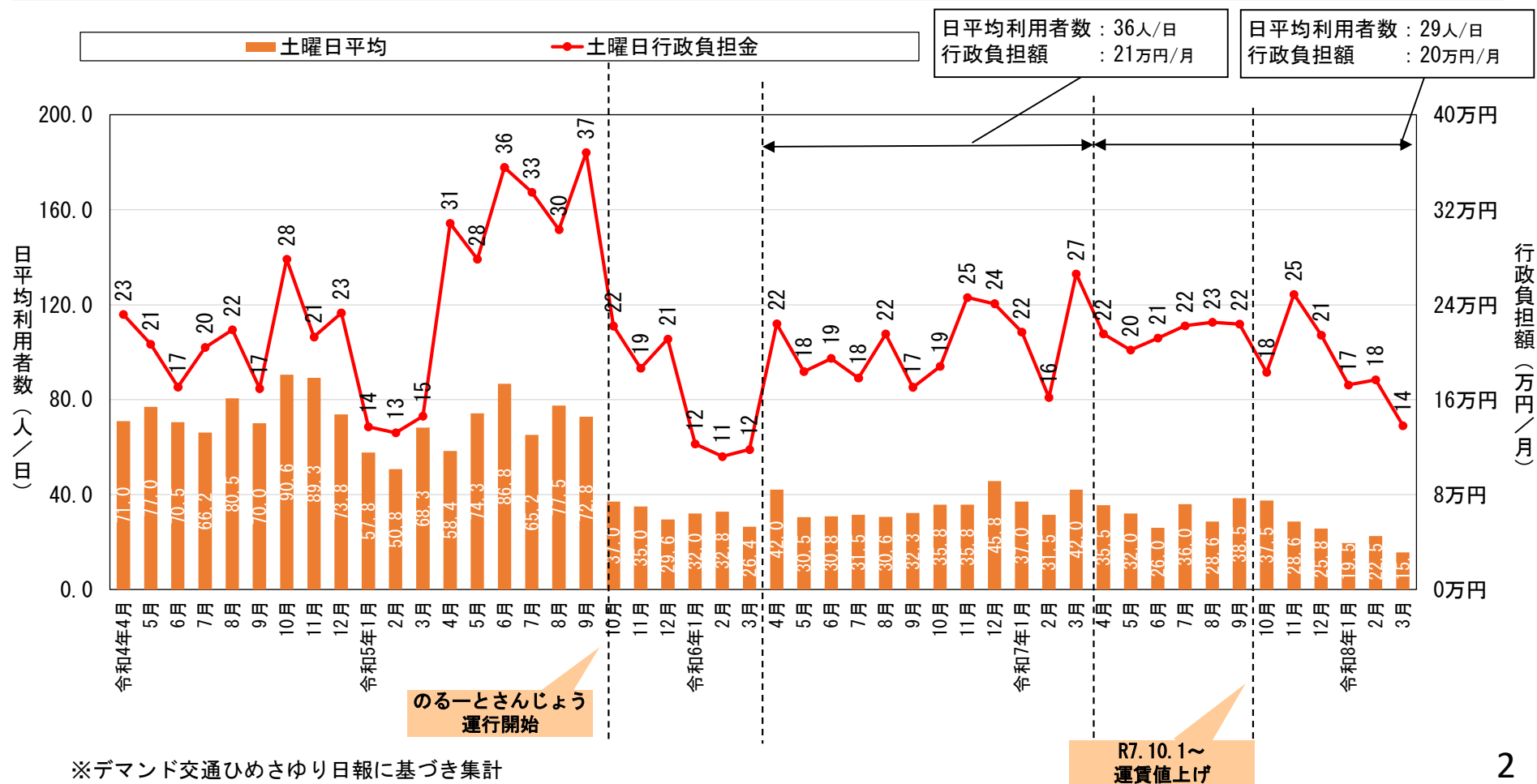
※デマンド交通ひめさゆり日報に基づき集計

参考: R7年度目標値 180人以上/日 (全日)
40人以上/日 (土曜日) 15人以上/日 (日・祝日)

1 ひめさゆり利用実績

(2)利用者数の推移(令和7年度・土曜日)

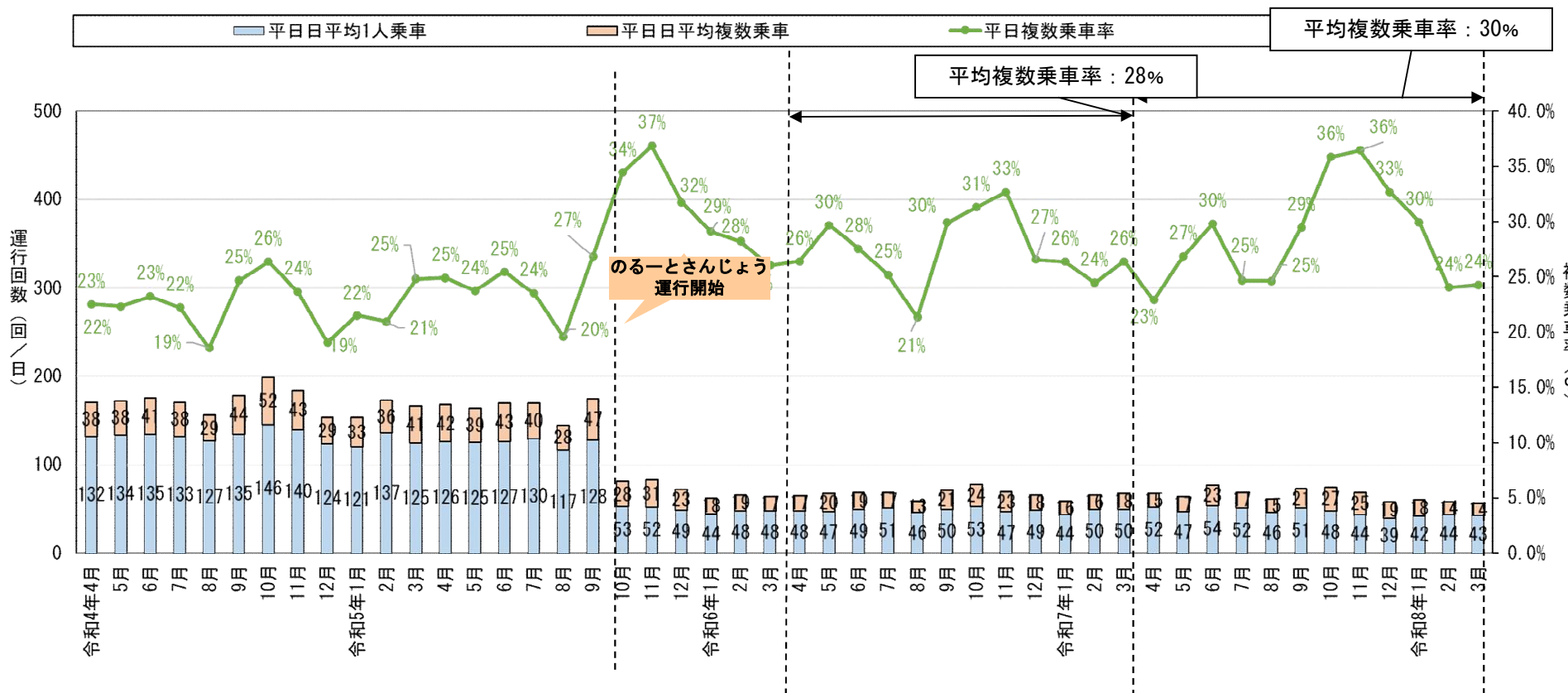
- 令和7年度 土曜の平均利用者数は約29人/日で、令和6年度同時期（利用者数:36人/日）と比較して約15%の減少
- 令和7年度の「ひめさゆり」の土曜日一運行当たり行政負担額は約20万円/月で、令和6年度同時期(行政負担額:21万円/月)と同程度になった



1 ひめさゆり利用実績

(3) 複数乗車率※の推移(令和7年度・平日)

- 令和7年度における平均の平日複数乗車率は約29%で、令和6年度(27%)の同時期と比較すると増加



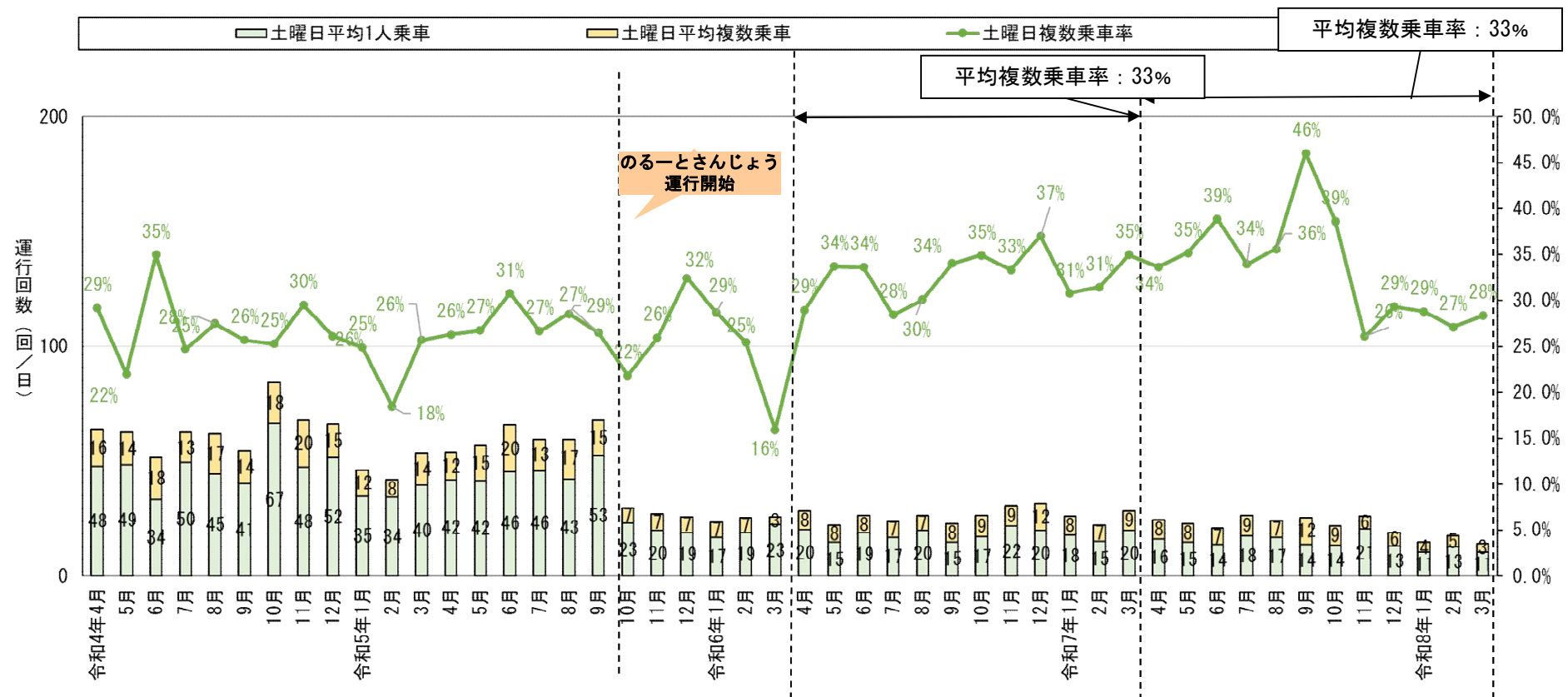
※デマンド交通ひめさゆり日報に基づき集計

※複数乗車率の算出定義：「2人以上で予約された数/全ての予約」

1 ひめさゆり利用実績

(3)複数乗車率※の推移(令和7年度・土曜日)

- 令和7年度における平均の土曜日複数乗車率は約33%で、令和6年度(33%)の同時期と比較すると同水準



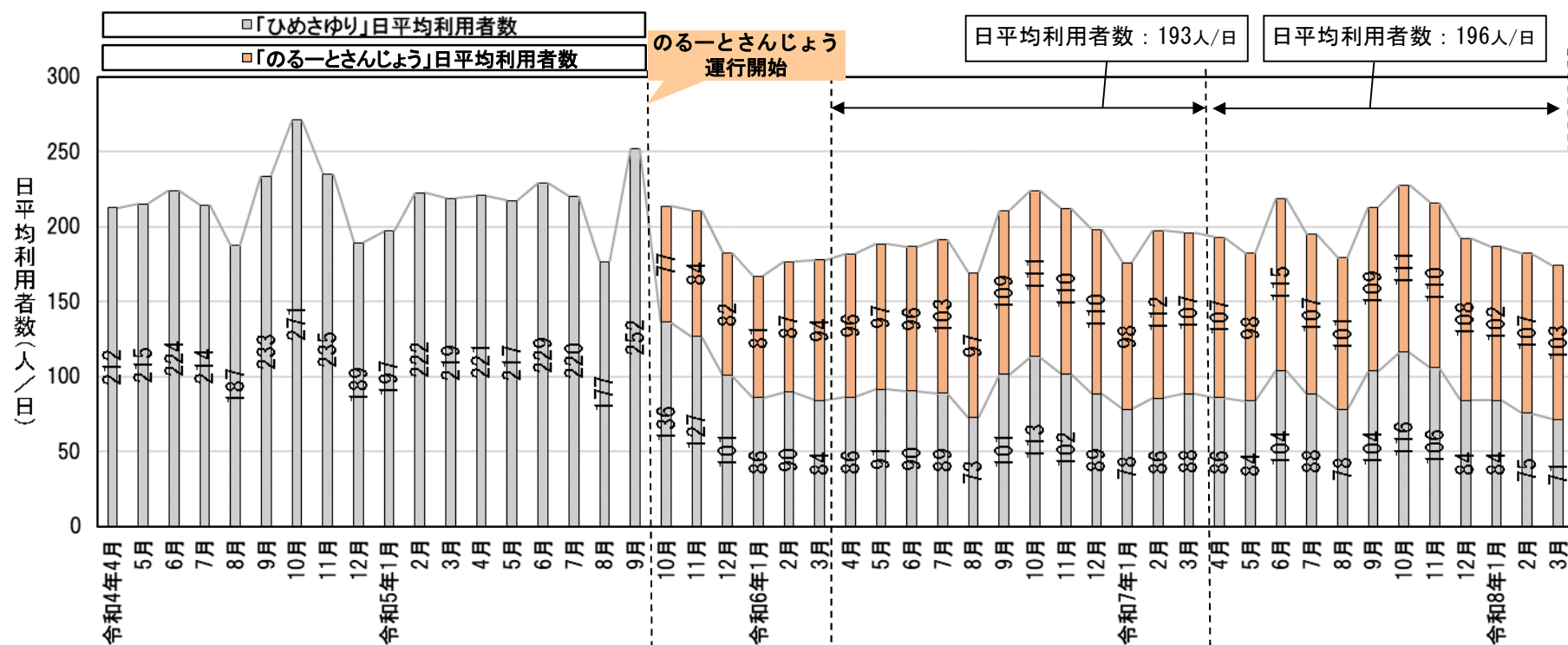
※デマンド交通ひめさゆり日報に基づき集計

※複数乗車率の算出定義：「2人以上で予約された数/全ての予約」

2 ひめさゆり・のるーとさんじょう利用実績

(1) 利用者数の推移(令和7年度・平日)

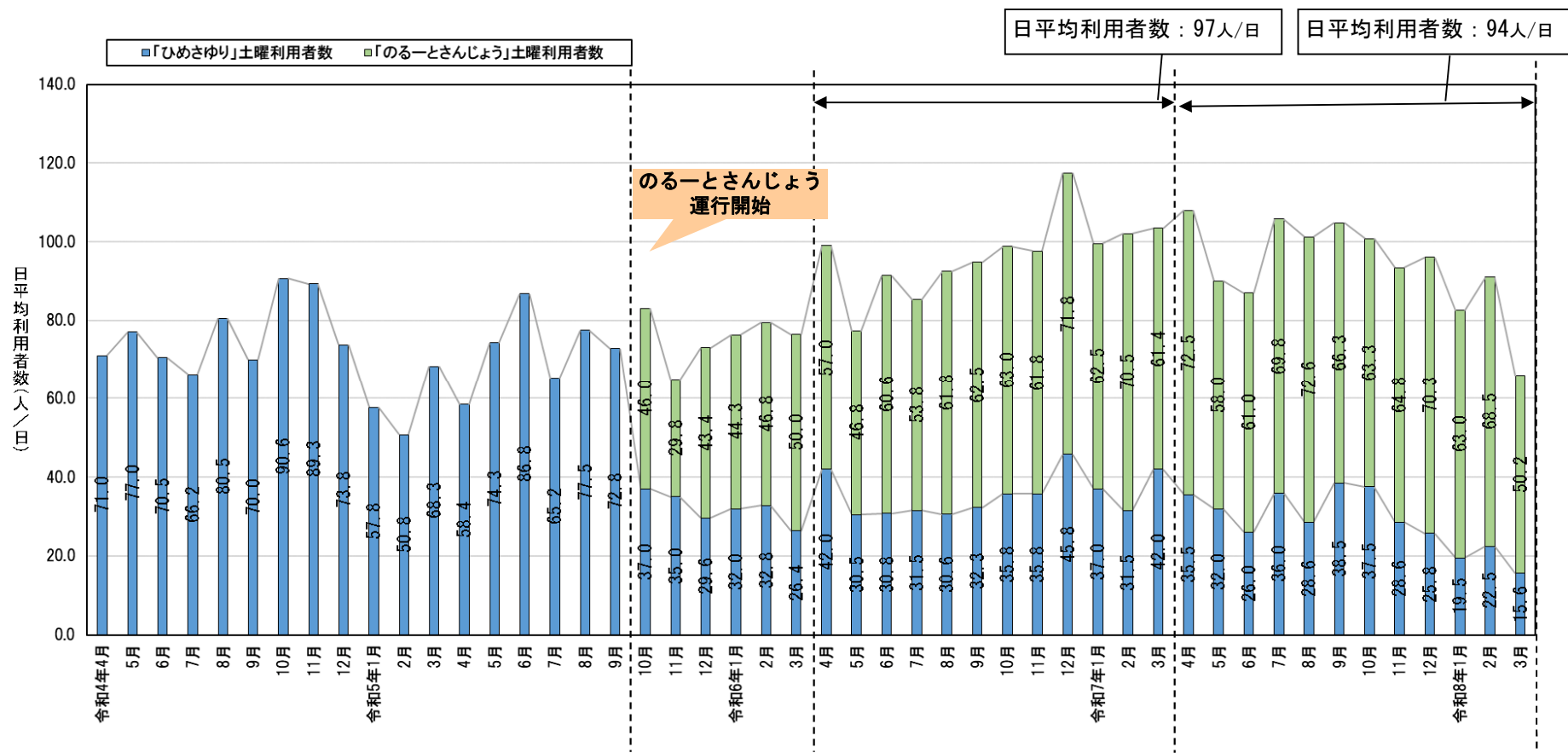
- 令和7年度のデマンド交通全体の利用者数は約196人/日で、令和6年度同時期のデマンド交通全体の利用者数(193人/日)と比較して増加



2 ひめさゆり・のるーとさんじょう利用実績

(2)利用者数の推移(令和7年度・土曜日)※日曜日は運行停止

- 令和7年度のデマンド交通全体の利用者数は約94人/日で、令和6年度同時期の「ひめさゆり」(利用者数:97人/日)と比較して減少
- ほかの月と比較して12月・3月が大幅に減少

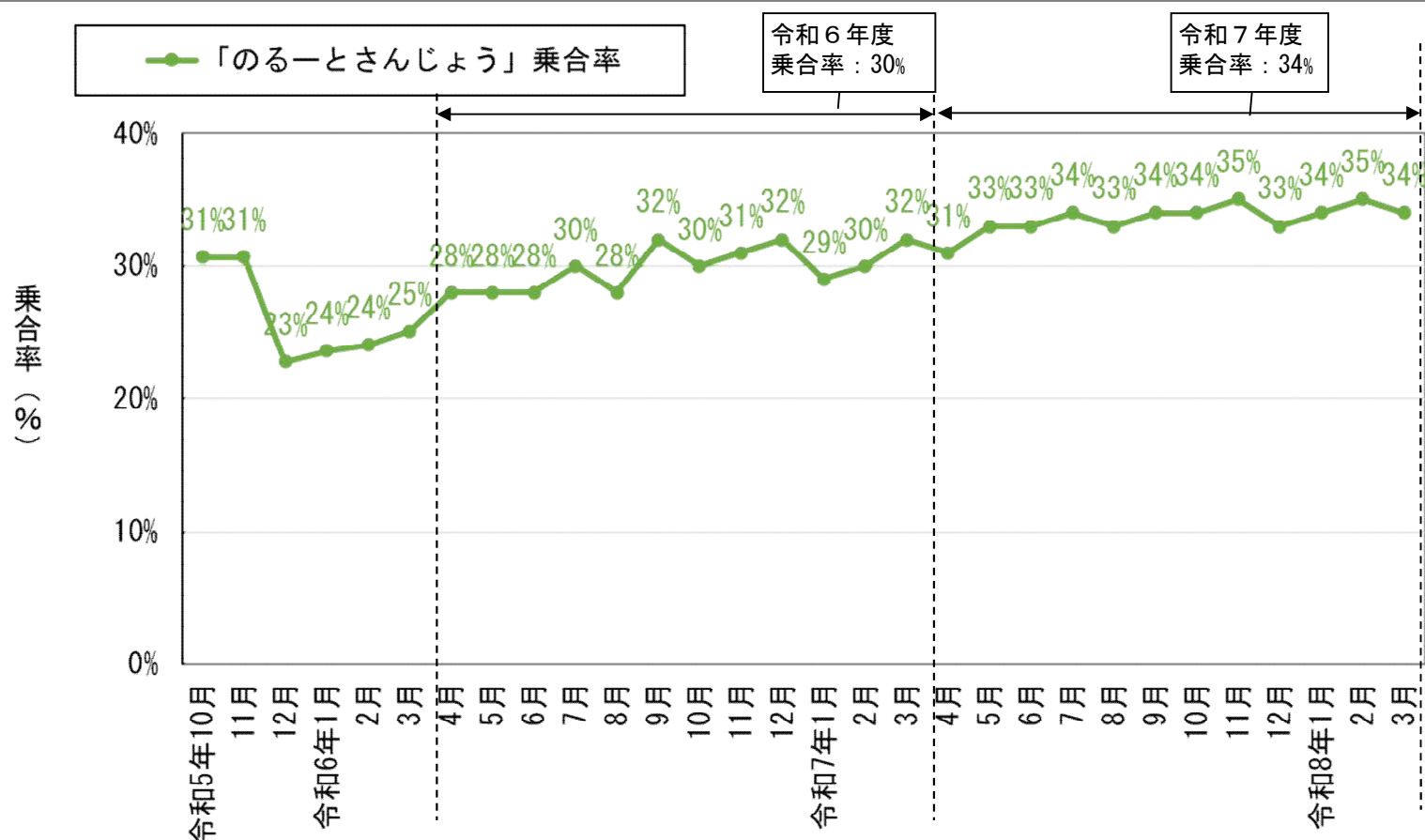


※デマンド交通ひめさゆり日報及びAIデマンドバス乗車履歴に基づき集計

2 ひめさゆり・のるーとさんじょう利用実績

(3)乗合率※の推移(令和7年度)

- 令和7年度の「のるーとさんじょう」の乗合率の平均は、34%で、令和6年度(30%)と比較して増加傾向
- 「のるーとさんじょう」は運行費が固定費用であることから、乗合率向上による利用者増を目指し、更なる効率化を図る



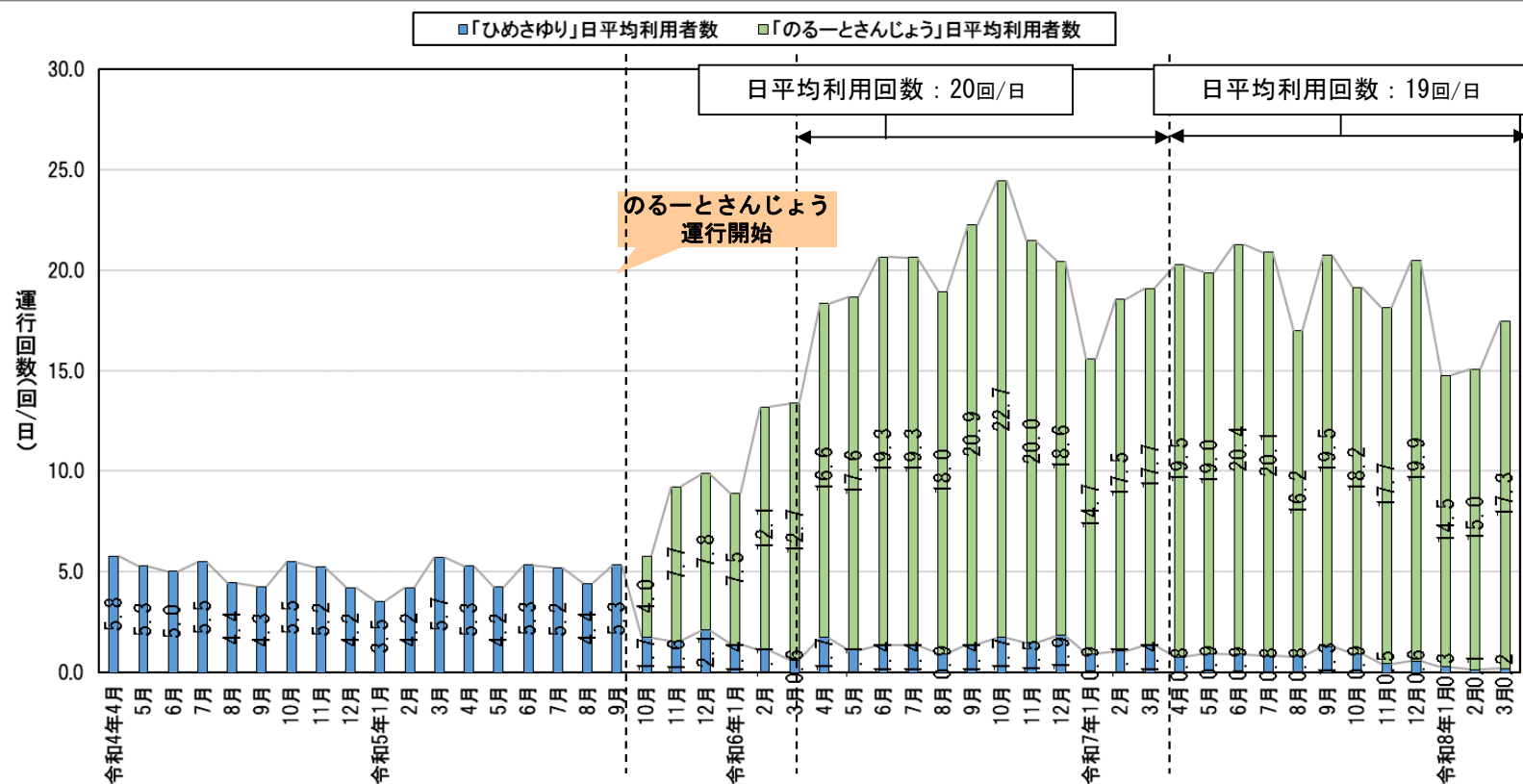
※AIデマンドバス乗車履歴に基づき集計

※乗合率の算出定義：「2組以上の利用者が同乗している時間合計/1組以上の利用者が乗車している時間合計」

2 ひめさゆり・のるーとさんじょう利用実績

(4)おでかけパスの利用実績(令和7年度)

- 令和7年度の日平均利用回数は、19回/日で令和6年度の同時期(20回)と比較して微減
- ほかの月と比較して10月ののるーとさんじょうにおけるおでかけパス利用が大幅に減少している



おでかけパス発行枚数（令和7年度）：370枚、協賛店舗数：53店舗（令和8年3月時点）

【参考】おでかけパス発行枚数（令和6年度）：406枚、協賛店舗数：53店舗（令和7年3月時点）

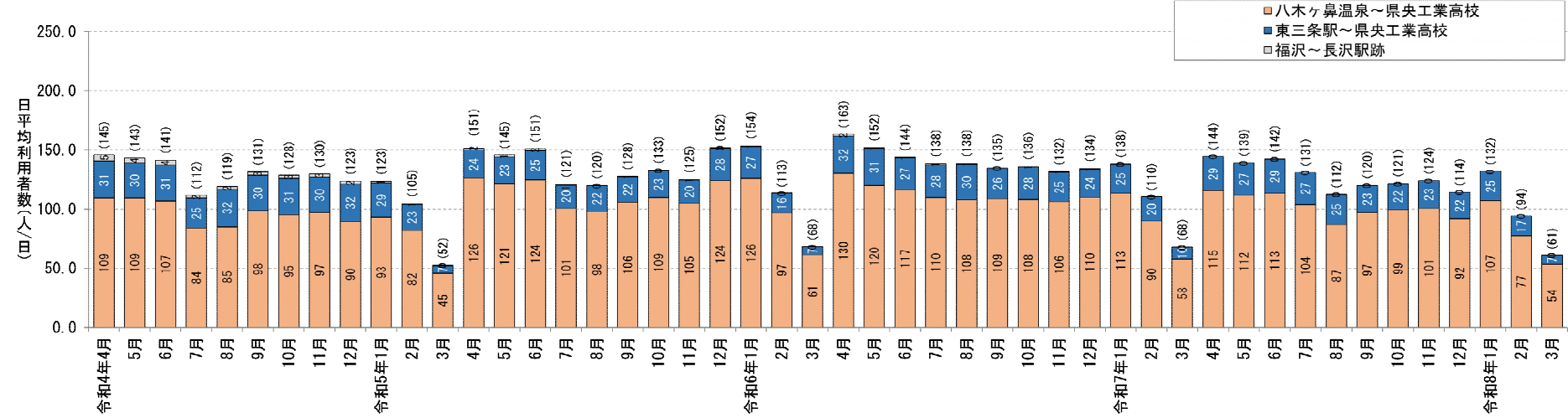
3 高校生通学ライナーバス利用実績

利用者数の推移(令和7年度)

- 令和7年度の平均利用者数は119人/日で、令和6年度(132人/日)と比較して減少
- 八木ヶ鼻温泉～県央工業高校、東三条駅～県央工業高校区間ともに減少
- ※福沢～長沢駅線は運行停止

	八木ヶ鼻温泉～県央工業高校	東三条駅～県央工業高校 (補助対象路線) ※八木ヶ鼻温泉～県央工業高校 の内数	福沢～長沢駅跡 (補助対象路線)
令和4年度	91.4人/日	27.1人/日	2.6人/日
令和5年度	108.9人/日	21.3人/日	0.7人/日
令和6年度	105.6人/日	25.0人/日	0.7人/日
令和7年度	97.3人/日	23.1人/日	

※赤字：前年度より増加、青字：前年度より減少

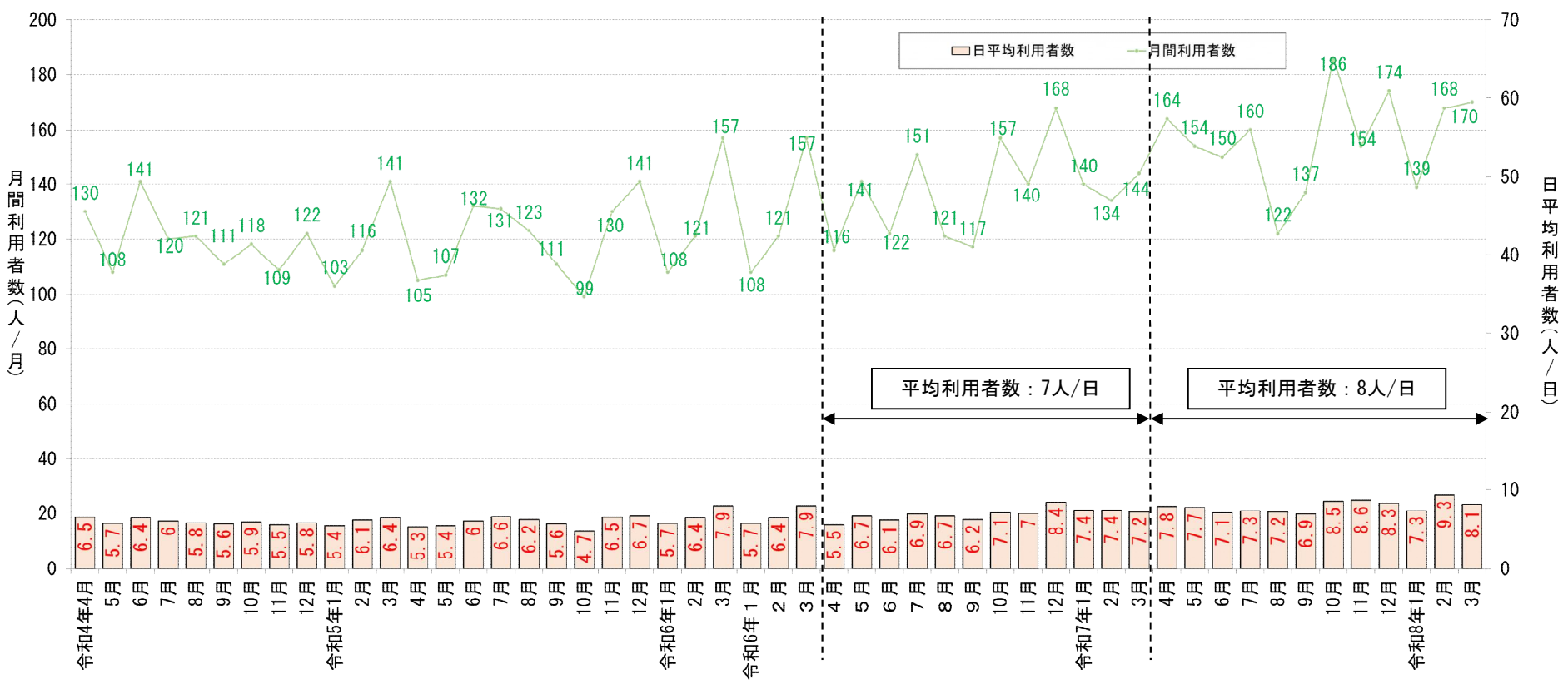


※高校生ライナー利用実績に基づき集計

4 井栗地区コミュニティバス利用実績

利用者数の推移(令和7年度)

- 令和7年度の平均利用者数は8人/日であり、令和6年度(7人/日)から増加
- 年度を重ねるごとに利用者が増加しており、今後も増加が見込まれる



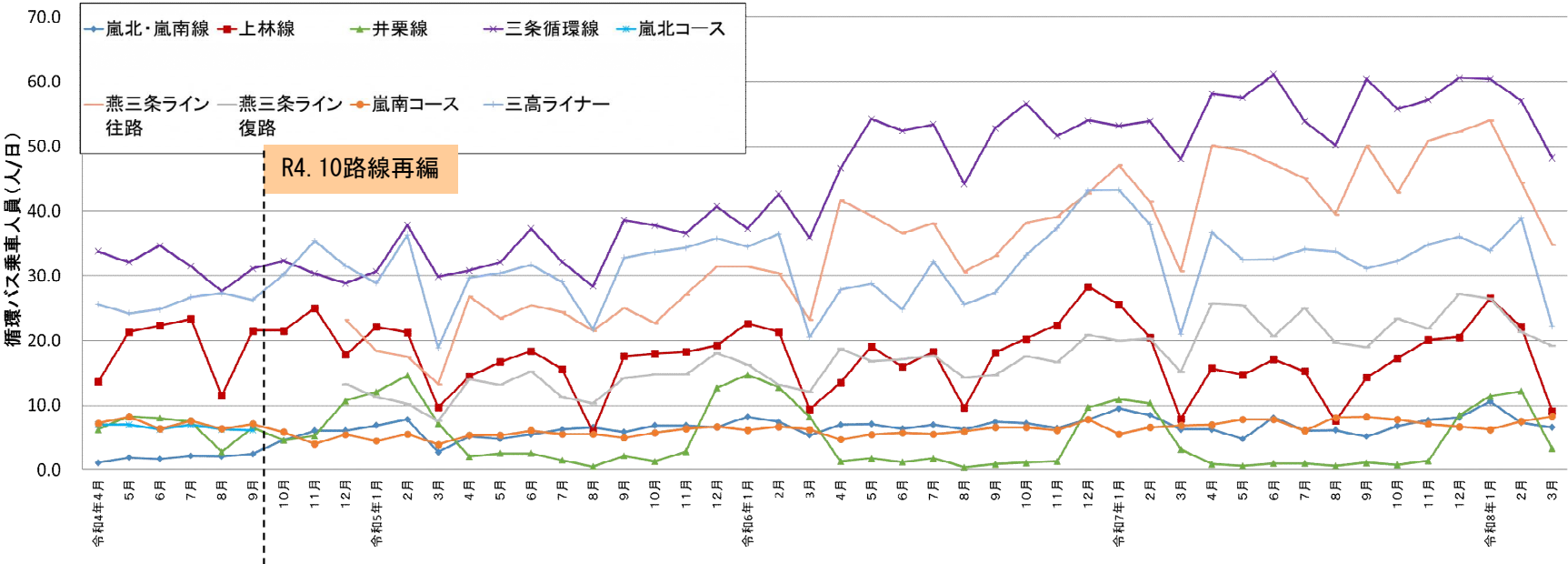
※井栗地区コミュニティバス利用実績に基づき集計

5 循環バスぐるっとさん利用実績

利用者数の推移(令和7年度)

- 令和6年度と比較し、嵐北・嵐南線、上林線、井栗線は減少しており、それ以外の路線と全体は増加している
- グラフから読み取る全体的な利用者も増加しており、これは利用者の多い路線が増加傾向であるためである

	嵐北・嵐南線 (Aコース)	上林線 (Bコース)	井栗線 (北コース)	三条循環線 (南コース)	嵐北コース ※R4.10廃止	燕三条ライン 往路	燕三条ライン 復路	嵐南コース	三高・県央 工業ライナー (三高ライナー)	全体
令和4年度	3.8人/日	19.2人/日	7.8人/日	31.7人/日	6.6人/日	18.1人/日	10.6人/日	6.0人/日	28.0人/日	132.0人/日
令和5年度	6.3人/日	16.5人/日	5.3人/日	35.9人/日		26.1人/日	14.0人/日	5.9人/日	30.9人/日	140.8人/日
令和6年度	7.3人/日	18.3人/日	3.7人/日	51.7人/日		38.2人/日	17.5人/日	6.2人/日	31.9人/日	174.8人/日
令和7年度	7.0人/日	16.7人/日	3.6人/日	56.7人/日		46.7人/日	22.9人/日	7.4人/日	33.3人/日	194.2人/日



※市内循環バスぐるっとさん利用実績に基づき集計

7 集計結果の考察と今後の対策

全体

- コロナ禍による利用者数減少の傾向は落ち着いたものの、コロナ禍前の水準まで回復はしておらず、また、近年は同程度の水準に定着しつつある。
- 今後、利用者数がコロナ禍前水準まで回復しないことも予測されることから、状況を確認しつつ、以下に記載するような対応策を検討。

ひめさゆり

- 令和7年度の「ひめさゆり」の平日利用者数は約90人/日で、令和6年度同時期（利用者数:90人/日）と同数
- 令和7年度の「ひめさゆり」の土曜日利用者数は約29人/日で、令和6年度同時期（利用者数:36人/日）と比較して減少
- 平日の行政負担額については、運行経費の変動（主に人件費・燃料費）に伴い増加
- 「のるーとさんじょう」の利用者数状況および行政負担額にも注視し、デマンド交通全体での利用状況を分析する必要有り。

のるーとさんじょう

- 令和7年度の「のるーとさんじょう」の利用者数は減少傾向
- 「のるーとさんじょう」における、おでかけパスの日平均利用回は微減傾向
- 減少傾向は大きくないものの、今後の利用者増加に向けて再度周知等を行う必要有

7 集計結果の考察と今後の対策

高校生通学ライナーバス

- 令和7年度平均利用者数は令和6年度と比較して減少傾向。
- より積極的に沿線の学生への周知を行い、利用者の増加を図る必要有り。

井栗地区コミュニティバス

- 令和7年度平均利用者数は令和6年度と比較して増加傾向。
- 地域住民の利用ニーズ等を踏まえ、引き続き多角的な検討をしていくことが重要。

循環バスぐるっとさん

- 全体を見ると利用者が増加傾向にあり、利用者の多い路線は増加傾向も強い。
- 嵐北・嵐南線、上林線、井栗線においては利用者数は減少傾向にある。
- 他の公共交通の利用状況も踏まえ、利用者の多い路線・便については、さらなる運行頻度の見直しを検討する余地あり。